



# グリッドを構成してインストールを完了する (VMware)

StorageGRID software

NetApp  
December 03, 2025

# 目次

グリッドを構成してインストールを完了する (VMware)	1
グリッドマネージャーに移動する	1
StorageGRIDライセンス情報を指定する	2
サイトを追加	3
グリッドネットワークサブネットを指定する	3
保留中のグリッドノードを承認する	4
ネットワークタイムプロトコルサーバー情報を指定する	8
DNSサーバー情報を指定する	10
StorageGRIDシステムのパスワードを指定する	10
設定を確認してインストールを完了します	12
インストール後のガイドライン	14

# グリッドを構成してインストールを完了する (VMware)

## グリッドマネージャーに移動する

Grid Manager を使用して、StorageGRIDシステムを構成するために必要なすべての情報を定義します。

開始する前に

プライマリ管理ノードがデプロイされ、初期起動シーケンスが完了している必要があります。

手順

1. Web ブラウザを開き、次の場所に移動します。

```
https://primary_admin_node_ip
```

あるいは、ポート 8443 で Grid Manager にアクセスすることもできます。

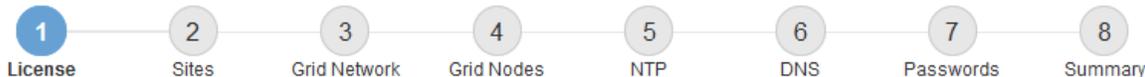
```
https://primary_admin_node_ip:8443
```

ネットワーク構成に応じて、グリッド ネットワークまたは管理ネットワーク上のプライマリ管理ノード IP の IP アドレスを使用できます。信頼されていない証明書に移動するには、ブラウザのセキュリティ/詳細オプションを使用する必要がある場合があります。

2. 必要に応じて一時的なインストーラー パスワードを管理します。
  - これらのいずれかの方法ですでにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して続行します。
    - ユーザーが以前にインストーラにアクセスする際にパスワードを設定しました
    - SSH/コンソールパスワードはOVFプロパティから自動的にインポートされました
  - パスワードが設定されていない場合は、オプションでパスワードを設定して、StorageGRIDインストーラを保護します。
3. \* StorageGRIDシステムのインストール\*を選択します。

StorageGRIDグリッドを構成するために使用するページが表示されます。

Install



## License

Enter a grid name and upload the license file provided by NetApp for your StorageGRID system.

Grid Name

License File

Browse

## StorageGRIDライセンス情報を指定する

StorageGRIDシステムの名前を指定し、NetAppから提供されたライセンス ファイルをアップロードする必要があります。

## 手順

1. 「ライセンス」 ページで、「グリッド名」 フィールドにStorageGRIDシステムのわかりやすい名前を入力します。

インストール後、名前はノード メニューの上部に表示されます。

2. \*参照\*を選択し、NetAppライセンスファイルを見つけます(NLF-unique-id.txt) をクリックし、[開く]を選択します。

ライセンス ファイルが検証され、シリアル番号が表示されます。



StorageGRIDインストール アーカイブには、製品のサポート権限を提供しない無料ライセンスが含まれています。インストール後にサポートが提供されるライセンスに更新できません。

1 License 2 Sites 3 Grid Network 4 Grid Nodes 5 NTP 6 DNS 7 Passwords 8 Summary

License

Enter a grid name and upload the license file provided by NetApp for your StorageGRID system.

Grid Name

License File  NLF-959007-Internal.txt

License Serial Number

3. \*次へ\*を選択します。

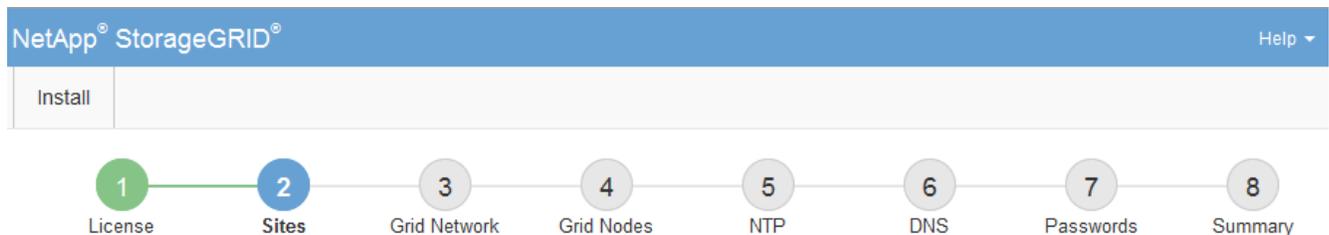
## サイトを追加

StorageGRIDをインストールするときは、少なくとも1つのサイトを作成する必要があります。追加のサイトを作成して、StorageGRIDシステムの信頼性とストレージ容量を向上させることができます。

### 手順

1. 「サイト」ページで、「サイト名」を入力します。
2. さらにサイトを追加するには、最後のサイト エントリの横にあるプラス記号をクリックし、新しい サイト名 テキスト ボックスに名前を入力します。

グリッド トポロジに必要な数だけサイトを追加します。最大 16 個のサイトを追加できます。



### Sites

In a single-site deployment, infrastructure and operations are centralized in one site.

In a multi-site deployment, infrastructure can be distributed asymmetrically across sites, and proportional to the needs of each site. Typically, sites are located in geographically different locations. Having multiple sites also allows the use of distributed replication and erasure coding for increased availability and resiliency.

Site Name 1	<input type="text" value="Raleigh"/>	✘
Site Name 2	<input type="text" value="Atlanta"/>	+ ✘

3. \*次へ\*をクリックします。

## グリッドネットワークサブネットを指定する

グリッド ネットワークで使用されるサブネットを指定する必要があります。

### タスク概要

サブネット エントリには、StorageGRIDシステム内の各サイトのグリッド ネットワークのサブネットと、グリッド ネットワーク経由でアクセス可能である必要があるサブネットが含まれます。

複数のグリッド サブネットがある場合は、グリッド ネットワーク ゲートウェイが必要です。指定されたすべてのグリッド サブネットは、このゲートウェイ経由でアクセスできる必要があります。

### 手順

1. サブネット 1 テキスト ボックスに、少なくとも1つのグリッド ネットワークの CIDR ネットワーク アド

レスを指定します。

- 最後のエントリの横にあるプラス記号をクリックして、追加のネットワーク エントリを追加します。グリッド ネットワーク内のすべてのサイトのすべてのサブネットを指定する必要があります。
  - すでに 1 つ以上のノードを展開している場合は、[グリッド ネットワーク サブネットの検出] をクリックすると、グリッド マネージャに登録されているグリッド ノードによって報告されたサブネットがグリッド ネットワーク サブネット リストに自動的に入力されます。
  - グリッド ネットワーク ゲートウェイ経由でアクセスされる NTP、DNS、LDAP、またはその他の外部サーバーのサブネットを手動で追加する必要があります。

NetApp® StorageGRID® Help ▾

Install

1 License 2 Sites 3 **Grid Network** 4 Grid Nodes 5 NTP 6 DNS 7 Passwords 8 Summary

### Grid Network

You must specify the subnets that are used on the Grid Network. These entries typically include the subnets for the Grid Network for each site in your StorageGRID system. Select Discover Grid Networks to automatically add subnets based on the network configuration of all registered nodes.

**Note:** You must manually add any subnets for NTP, DNS, LDAP, or other external servers accessed through the Grid Network gateway.

Subnet 1  +

- \*次へ\*をクリックします。

## 保留中のグリッドノードを承認する

各グリッド ノードをStorageGRIDシステムに参加させる前に承認する必要があります。

開始する前に

すべての仮想ノードとStorageGRIDアプライアンス グリッド ノードがデプロイされました。



一部のノードを今インストールし、一部のノードを後でインストールするよりも、すべてのノードを 1 回インストールする方が効率的です。

手順

- 保留中のノード リストを確認し、デプロイしたグリッド ノードがすべて表示されていることを確認します。



グリッド ノードが見つからない場合、そのノードが正常にデプロイされ、ADMIN\_IP にプライマリ管理ノードの正しいグリッド ネットワーク IP が設定されていることを確認します。

- 承認する保留中のノードの横にあるラジオ ボタンを選択します。



## Grid Nodes

Approve and configure grid nodes, so that they are added correctly to your StorageGRID system.

### Pending Nodes

Grid nodes are listed as pending until they are assigned to a site, configured, and approved.

+ Approve		✗ Remove		Search		Q			
Grid Network MAC Address	↑↓	Name	↑↓	Type	↑↓	Platform	↑↓	Grid Network IPv4 Address	▼
50:6b:4b:42:d7:00		NetApp-SGA		Storage Node		StorageGRID Appliance		172.16.5.20/21	

### Approved Nodes

Grid nodes that have been approved and have been configured for installation. An approved grid node's configuration can be edited if errors are identified.

✎ Edit		🔄 Reset		✗ Remove		Search		Q			
Grid Network MAC Address	↑↓	Name	↑↓	Site	↑↓	Type	↑↓	Platform	↑↓	Grid Network IPv4 Address	▼
00:50:56:87:42:ff		dc1-adm1		Raleigh		Admin Node		VMware VM		172.16.4.210/21	
00:50:56:87:c0:16		dc1-s1		Raleigh		Storage Node		VMware VM		172.16.4.211/21	
00:50:56:87:79:ee		dc1-s2		Raleigh		Storage Node		VMware VM		172.16.4.212/21	
00:50:56:87:db:9c		dc1-s3		Raleigh		Storage Node		VMware VM		172.16.4.213/21	
00:50:56:87:62:38		dc1-g1		Raleigh		API Gateway Node		VMware VM		172.16.4.214/21	

3. \*承認\*をクリックします。

4. [全般設定] で、必要に応じて次のプロパティの設定を変更します。

- サイト: このグリッド ノードのサイトのシステム名。
- 名前: ノードのシステム名。名前は、ノードを構成したときに指定した名前にデフォルト設定されま

す。システム名はStorageGRID の内部操作に必要であり、インストールの完了後は変更できません。ただし、インストール プロセスのこの手順では、必要に応じてシステム名を変更できます。



VMware ノードの場合、ここで名前を変更できますが、このアクションによって vSphere 内の仮想マシンの名前は変更されません。

- **NTP** ロール: グリッド ノードのネットワーク タイム プロトコル (NTP) ロール。オプションは、自動、プライマリ、クライアント\*です。\*自動\*を選択すると、管理ノード、ADC サービスを備えたストレージ ノード、ゲートウェイ ノード、および非静的 IP アドレスを持つグリッド ノードにプライマリ ロールが割り当てられます。他のすべてのグリッド ノードにはクライアント ロールが割り当てら

れます。



各サイトの少なくとも2つのノードが少なくとも4つの外部 NTP ソースにアクセスできることを確認します。サイト内の1つのノードだけが NTP ソースに到達できる場合、そのノードがダウンするとタイミングの問題が発生します。さらに、サイトごとに2つのノードをプライマリ NTP ソースとして指定すると、サイトがグリッドの残りの部分から分離されている場合でも正確なタイミングが保証されます。

- ストレージ タイプ (ストレージ ノードのみ): 新しいストレージ ノードをデータ専用、メタデータ専用、またはその両方に使用するように指定します。オプションは、データとメタデータ (「結合」) データのみ、\*メタデータのみ\*です。



見る"[ストレージノードの種類](#)"これらのノード タイプの要件に関する情報。

- **ADC** サービス (ストレージ ノードのみ): 自動 を選択すると、ノードに管理ドメイン コントローラ (ADC) サービスが必要かどうかシステムによって判断されます。ADC サービスは、グリッド サービスの場所と可用性を追跡します。各サイトの少なくとも3つのストレージ ノードに ADC サービスが含まれている必要があります。ADC サービスをデプロイ後にノードに追加することはできません。

5. グリッド ネットワークで、必要に応じて次のプロパティの設定を変更します。

- **IPv4 アドレス (CIDR):** グリッド ネットワーク インターフェイス (コンテナ内の eth0) の CIDR ネットワーク アドレス。例: 192.168.1.234/21
- **ゲートウェイ:** グリッド ネットワーク ゲートウェイ。例: 192.168.0.1



グリッド サブネットが複数ある場合はゲートウェイが必要です。



グリッド ネットワーク構成に DHCP を選択し、ここで値を変更すると、新しい値がノード上の静的アドレスとして構成されます。設定された IP アドレスが DHCP アドレス プール内にあることを確認する必要があります。

6. グリッド ノードの管理ネットワークを構成する場合は、必要に応じて管理ネットワーク セクションで設定を追加または更新します。

サブネット (**CIDR**) テキスト ボックスに、このインターフェイスからのルートの宛先サブネットを入力します。管理サブネットが複数ある場合は、管理ゲートウェイが必要です。



管理ネットワーク構成に DHCP を選択し、ここで値を変更すると、新しい値がノード上の静的アドレスとして構成されます。設定された IP アドレスが DHCP アドレス プール内にあることを確認する必要があります。

**アプライアンス:** StorageGRIDアプライアンスの場合、StorageGRIDアプライアンス インストーラを使用した初期インストール時に管理ネットワークが設定されていなかった場合、このグリッド マネージャ ダイアログ ボックスで設定することはできません。代わりに、次の手順に従う必要があります。

- a. アプライアンスを再起動します。アプライアンス インストーラーで、[詳細] > [再起動] を選択します。

再起動には数分かかる場合があります。

- b. ネットワークの構成 > リンク構成 を選択し、適切なネットワークを有効にします。
- c. ネットワークの構成 > IP 構成 を選択し、有効なネットワークを構成します。
- d. ホーム ページに戻り、[インストールの開始] をクリックします。
- e. グリッド マネージャー: ノードが承認済みノード テーブルにリストされている場合は、ノードを削除します。
- f. 保留中のノード テーブルからノードを削除します。
- g. 保留中のノード リストにノードが再度表示されるまで待ちます。
- h. 適切なネットワークを構成できることを確認します。これらには、アプライアンス インストーラの IP 構成ページで指定した情報がすでに入力されているはずで

詳細については、"[ハードウェアインストールのクイックスタート](#)"お使いの機器の説明書を見つめます。

7. グリッド ノードのクライアント ネットワークを構成する場合は、必要に応じてクライアント ネットワーク セクションで設定を追加または更新します。クライアント ネットワークが構成されている場合はゲートウェイが必要であり、インストール後にノードのデフォルト ゲートウェイになります。



クライアント ネットワーク構成に DHCP を選択し、ここで値を変更すると、新しい値がノード上の静的アドレスとして構成されます。設定された IP アドレスが DHCP アドレス プール内にあることを確認する必要があります。

アプライアンス: StorageGRIDアプライアンスの場合、StorageGRIDアプライアンス インストーラを使用した初期インストール時にクライアント ネットワークが設定されていなかった場合、この Grid Manager ダイアログ ボックスで設定することはできません。代わりに、次の手順に従う必要があります。

- a. アプライアンスを再起動します。アプライアンス インストーラーで、[詳細] > [再起動] を選択します。

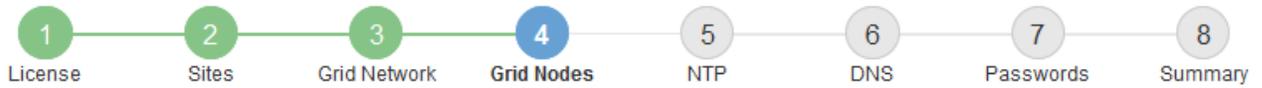
再起動には数分かかる場合があります。

- b. ネットワークの構成 > リンク構成 を選択し、適切なネットワークを有効にします。
- c. ネットワークの構成 > IP 構成 を選択し、有効なネットワークを構成します。
- d. ホーム ページに戻り、[インストールの開始] をクリックします。
- e. グリッド マネージャー: ノードが承認済みノード テーブルにリストされている場合は、ノードを削除します。
- f. 保留中のノード テーブルからノードを削除します。
- g. 保留中のノード リストにノードが再度表示されるまで待ちます。
- h. 適切なネットワークを構成できることを確認します。これらには、アプライアンス インストーラの IP 構成ページで指定した情報がすでに入力されているはずで

詳細については、"[ハードウェアインストールのクイックスタート](#)"お使いの機器の説明書を見つめます。

8. \*保存\*をクリックします。

グリッド ノード エントリが承認済みノード リストに移動します。



## Grid Nodes

Approve and configure grid nodes, so that they are added correctly to your StorageGRID system.

### Pending Nodes

Grid nodes are listed as pending until they are assigned to a site, configured, and approved.

+ Approve
✕ Remove

Search Q

Grid Network MAC Address	Name	Type	Platform	Grid Network IPv4 Address
No results found.				

◀
▶

### Approved Nodes

Grid nodes that have been approved and have been configured for installation. An approved grid node's configuration can be edited if errors are identified.

✎ Edit
🔄 Reset
✕ Remove

Search Q

	Grid Network MAC Address	Name	Site	Type	Platform	Grid Network IPv4 Address
<input type="radio"/>	00:50:56:87:42:ff	dc1-adm1	Raleigh	Admin Node	VMware VM	172.16.4.210/21
<input type="radio"/>	00:50:56:87:c0:16	dc1-s1	Raleigh	Storage Node	VMware VM	172.16.4.211/21
<input type="radio"/>	00:50:56:87:79:ee	dc1-s2	Raleigh	Storage Node	VMware VM	172.16.4.212/21
<input type="radio"/>	00:50:56:87:db:9c	dc1-s3	Raleigh	Storage Node	VMware VM	172.16.4.213/21
<input type="radio"/>	00:50:56:87:62:38	dc1-g1	Raleigh	API Gateway Node	VMware VM	172.16.4.214/21
<input type="radio"/>	50:6b:4b:42:d7:00	NetApp-SGA	Raleigh	Storage Node	StorageGRID Appliance	172.16.5.20/21

◀
▶

9. 承認する保留中のグリッド ノードごとにこれらの手順を繰り返します。

グリッド内に必要なすべてのノードを承認する必要があります。ただし、[概要] ページで [インストール] をクリックする前であれば、いつでもこのページに戻ることができます。承認されたグリッド ノードのプロパティを変更するには、ラジオ ボタンを選択し、[編集] をクリックします。

10. グリッド ノードの承認が完了したら、[次へ] をクリックします。

## ネットワークタイムプロトコルサーバー情報を指定する

別々のサーバーで実行される操作の同期を維持できるように、StorageGRIDシステムのネットワーク タイム プロトコル (NTP) 構成情報を指定する必要があります。

### タスク概要

NTP サーバーの IPv4 アドレスを指定する必要があります。

外部 NTP サーバーを指定する必要があります。指定された NTP サーバーは NTP プロトコルを使用する必要があります。

時間のずれの問題を防ぐには、Stratum 3 以上の NTP サーバー参照を 4 つ指定する必要があります。



運用レベルのStorageGRIDインストールに外部 NTP ソースを指定する場合は、Windows Server 2016 より前のバージョンの Windows で Windows Time (W32Time) サービスを使用しないでください。以前のバージョンの Windows のタイム サービスは精度が十分でないため、StorageGRIDなどの高精度環境で使用することは Microsoft によってサポートされていません。

### "高精度環境向けに Windows Time サービスを構成するためのサポート境界"

外部 NTP サーバーは、以前にプライマリ NTP ロールを割り当てたノードによって使用されます。



各サイトの少なくとも 2 つのノードが少なくとも 4 つの外部 NTP ソースにアクセスできることを確認します。サイト内の 1 つのノードだけが NTP ソースに到達できる場合、そのノードがダウンするとタイミングの問題が発生します。さらに、サイトごとに 2 つのノードをプライマリ NTP ソースとして指定すると、サイトがグリッドの残りの部分から分離されている場合でも正確なタイミングが保証されます。

ハイパーバイザーが仮想マシンと同じ NTP ソースを使用していることを確認したり、VMTools を使用してハイパーバイザーとStorageGRID仮想マシン間の時間同期を無効にしたりするなど、VMware の追加チェックを実行します。

### 手順

1. サーバー 1 ~ サーバー 4 のテキスト ボックスに、少なくとも 4 つの NTP サーバーの IPv4 アドレスを指定します。
2. 必要に応じて、最後のエントリの横にあるプラス記号を選択して、追加のサーバー エントリを追加します。

The screenshot shows the NetApp StorageGRID installation wizard interface. At the top, there is a blue header with "NetApp® StorageGRID®" and a "Help" dropdown. Below the header is a progress bar with 8 steps: 1. License, 2. Sites, 3. Grid Network, 4. Grid Nodes, 5. NTP (highlighted in blue), 6. DNS, 7. Passwords, and 8. Summary. Below the progress bar, the "Network Time Protocol" section is visible. It contains the instruction: "Enter the IP addresses for at least four Network Time Protocol (NTP) servers, so that operations performed on separate servers are kept in sync." There are four input fields labeled "Server 1" through "Server 4". The values entered are: Server 1: 10.60.248.183, Server 2: 10.227.204.142, Server 3: 10.235.48.111, and Server 4: 0.0.0.0. A plus sign (+) is located to the right of the Server 4 field.

3. \*次へ\*を選択します。

# DNSサーバー情報を指定する

IP アドレスではなくホスト名を使用して外部サーバーにアクセスできるように、StorageGRIDシステムの DNS 情報を指定する必要があります。

## タスク概要

指定 ["DNSサーバの情報"](#)電子メール通知やAutoSupportに IP アドレスではなく完全修飾ドメイン名 (FQDN) ホスト名を使用できるようになります。

適切な動作を確保するには、2つまたは3つの DNS サーバーを指定します。3つ以上指定した場合、一部のプラットフォームでの既知の OS 制限により、3つしか使用されない可能性があります。環境にルーティング制限がある場合は、["DNSサーバーリストをカスタマイズする"](#)個々のノード (通常はサイト内のすべてのノード) が最大3台の DNS サーバーの異なるセットを使用するようにします。

可能であれば、各サイトがローカルにアクセスできる DNS サーバーを使用して、孤立したサイトが外部の宛先の FQDN を解決できるようにします。

## 手順

1. サーバー 1 テキスト ボックスに少なくとも1つの DNS サーバーの IPv4 アドレスを指定します。
2. 必要に応じて、最後のエントリの横にあるプラス記号を選択して、追加のサーバー エントリを追加します。

The screenshot shows the NetApp StorageGRID installation wizard interface. At the top, there is a blue header with "NetApp® StorageGRID®" and a "Help" link. Below the header is a navigation bar with an "Install" button. A progress indicator shows 8 steps: 1. License, 2. Sites, 3. Grid Network, 4. Grid Nodes, 5. NTP, 6. DNS (highlighted in blue), 7. Passwords, and 8. Summary. Below the progress indicator, the "Domain Name Service" section is visible. It contains the following text: "Enter the IP address for at least one Domain Name System (DNS) server, so that server hostnames can be used instead of IP addresses. Specifying at least two DNS servers is recommended. Configuring DNS enables server connectivity, email notifications, and NetApp AutoSupport." There are two input fields for DNS servers. The first is labeled "Server 1" and contains the IP address "10.224.223.130" with a red "X" icon to its right. The second is labeled "Server 2" and contains the IP address "10.224.223.136" with a red "+ X" icon to its right.

ベストプラクティスとしては、少なくとも2つの DNS サーバーを指定することです。最大6台の DNS サーバーを指定できます。

3. \*次へ\*を選択します。

# StorageGRIDシステムのパスワードを指定する

StorageGRIDシステムのインストールの一環として、システムのセキュリティを確保し、メンテナンス タスクを実行するために使用するパスワードを入力する必要があります。

## タスク概要

「インストール パスワード」ページを使用して、プロビジョニング パスフレーズとグリッド管理ルート ユーザー パスワードを指定します。

- プロビジョニング パスフレーズは暗号化キーとして使用され、StorageGRIDシステムによって保存されません。
- リカバリ パッケージのダウンロードを含むインストール、拡張、およびメンテナンスの手順には、プロビジョニング パスフレーズが必要です。したがって、プロビジョニング パスフレーズを安全な場所に保存することが重要です。
- 現在のプロビジョニング パスフレーズがある場合は、Grid Manager からそれを変更できます。
- グリッド管理ルート ユーザーのパスワードは、グリッド マネージャを使用して変更できます。
- ランダムに生成されたコマンドラインコンソールとSSHパスワードは、`Passwords.txt`リカバリ パッケージ内のファイル。

## 手順

1. プロビジョニング パスフレーズ に、StorageGRIDシステムのグリッド トポロジに変更を加えるために必要なプロビジョニング パスフレーズを入力します。

プロビジョニング パスフレーズを安全な場所に保管します。



インストールが完了した後にプロビジョニング パスフレーズを変更する場合は、Grid Manager を使用できます。構成 > アクセス制御 > グリッド パスワード を選択します。

2. \*プロビジョニング パスフレーズの確認\*で、プロビジョニング パスフレーズを再度入力して確認します。
3. グリッド管理ルート ユーザー パスワード に、グリッド マネージャに「ルート」ユーザーとしてアクセスするために使用するパスワードを入力します。

パスワードを安全な場所に保管してください。

4. ルート ユーザー パスワードの確認 で、Grid Manager のパスワードを再入力して確認します。

Install



### Passwords

Enter secure passwords that meet your organization's security policies. A text file containing the command line passwords must be downloaded during the final installation step.

Provisioning Passphrase	<input type="password"/>
Confirm Provisioning Passphrase	<input type="password"/>
Grid Management Root User Password	<input type="password"/>
Confirm Root User Password	<input type="password"/>

Create random command line passwords.

5. 概念実証またはデモの目的でグリッドをインストールする場合は、オプションで [ランダムなコマンドラインパスワードを作成する] チェックボックスをオフにします。

実稼働環境での展開では、セキュリティ上の理由から、常にランダムなパスワードを使用する必要があります。「root」または「admin」アカウントを使用してコマンドラインからグリッドノードにアクセスするためにデフォルトのパスワードを使用する場合は、デモグリッドに対してのみ「ランダムなコマンドラインパスワードを作成する」をクリアします。



リカバリパッケージファイルをダウンロードするように求められます(sgws-recovery-package-id-revision.zip)を、概要ページで [インストール] をクリックした後にクリックします。絶対です"[このファイルをダウンロードする](#)"インストールを完了します。システムにアクセスするために必要なパスワードは、`Passwords.txt`リカバリパッケージファイルに含まれるファイル。

6. \*次へ\*をクリックします。

## 設定を確認してインストールを完了します

インストールが正常に完了したことを確認するには、入力した構成情報を慎重に確認する必要があります。

### 手順

1. \*概要\*ページを表示します。

Install



### Summary

Verify that all of the grid configuration information is correct, and then click Install. You can view the status of each grid node as it installs. Click the Modify links to go back and change the associated information.

### General Settings

<b>Grid Name</b>	Grid1	<a href="#">Modify License</a>
<b>Passwords</b>	Auto-generated random command line passwords	<a href="#">Modify Passwords</a>

### Networking

<b>NTP</b>	10.60.248.183 10.227.204.142 10.235.48.111	<a href="#">Modify NTP</a>
<b>DNS</b>	10.224.223.130 10.224.223.136	<a href="#">Modify DNS</a>
<b>Grid Network</b>	172.16.0.0/21	<a href="#">Modify Grid Network</a>

### Topology

<b>Topology</b>	Atlanta	<a href="#">Modify Sites</a>	<a href="#">Modify Grid Nodes</a>
	Raleigh		
	<a href="#">dc1-adm1</a> <a href="#">dc1-g1</a> <a href="#">dc1-s1</a> <a href="#">dc1-s2</a> <a href="#">dc1-s3</a> <a href="#">NetApp-SGA</a>		

- すべてのグリッド構成情報が正しいことを確認します。「概要」ページの「変更」リンクを使用して戻ってエラーを修正します。
- \*インストール\*をクリックします。



ノードがクライアント ネットワークを使用するように構成されている場合、[インストール] をクリックすると、そのノードのデフォルト ゲートウェイがグリッド ネットワークからクライアント ネットワークに切り替わります。接続が失われた場合は、アクセス可能なサブ ネットを介してプライマリ管理ノードにアクセスしていることを確認する必要があります。見る["ネットワークガイドライン"](#)詳細については。

- \*リカバリパッケージのダウンロード\*をクリックします。

インストールがグリッドトポロジーの定義まで進むと、リカバリパッケージファイルをダウンロードするように求められます。(.zip) にアクセスし、このファイルの内容に正常にアクセスできることを確認します。1 つ以上のグリッド ノードに障害が発生した場合に StorageGRID システムを回復できるように、リカバリ パッケージ ファイルをダウンロードする必要があります。インストールはバックグラウンドで続行されますが、このファイルをダウンロードして検証するまで、インストールを完了して StorageGRID システムにアクセスすることはできません。

- の内容を抽出できることを確認します `zip` ファイルを 2 つの安全でセキュリティ保護された別々の場所に保存します。



リカバリ パッケージ ファイルには、StorageGRIDシステムからデータを取得するために使用できる暗号化キーとパスワードが含まれているため、セキュリティ保護する必要があります。

- リカバリ パッケージ ファイルのダウンロードと検証を正常に実行しました チェックボックスをオンにし、次へ をクリックします。

インストールがまだ進行中の場合は、ステータス ページが表示されます。このページには、各グリッド ノードのインストールの進行状況が表示されます。

Installation Status

If necessary, you may [Download the Recovery Package file](#) again.

Name	Site	Grid Network IPv4 Address	Progress	Stage
dc1-adm1	Site1	172.16.4.215/21	<div style="width: 100%;"></div>	Starting services
dc1-g1	Site1	172.16.4.216/21	<div style="width: 100%;"></div>	Complete
dc1-s1	Site1	172.16.4.217/21	<div style="width: 75%;"></div>	Waiting for Dynamic IP Service peers
dc1-s2	Site1	172.16.4.218/21	<div style="width: 25%;"></div>	Downloading hotfix from primary Admin if needed
dc1-s3	Site1	172.16.4.219/21	<div style="width: 10%;"></div>	Downloading hotfix from primary Admin if needed

すべてのグリッド ノードが完了段階に達すると、グリッド マネージャーのサインイン ページが表示されます。

- 「root」ユーザーとインストール時に指定したパスワードを使用して、Grid Manager にSign in。

## インストール後のガイドライン

グリッド ノードの展開と構成が完了したら、DHCP アドレス指定とネットワーク構成の変更に関する次のガイドラインに従います。

- IP アドレスの割り当てに DHCP が使用されている場合は、使用されているネットワーク上の各 IP アドレスに対して DHCP 予約を構成します。

DHCP を設定できるのは、展開フェーズ中のみです。構成中に DHCP を設定することはできません。



グリッド ネットワーク構成が DHCP によって変更されるとノードが再起動します。DHCP の変更が複数のノードに同時に影響する場合は、停止が発生する可能性があります。

- グリッド ノードの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを変更する場合は、IP の変更手順を使用する必要があります。見る"[IPアドレスを設定する](#)"。
- ルーティングやゲートウェイの変更などのネットワーク構成の変更を行うと、プライマリ管理ノードおよびその他のグリッド ノードへのクライアント接続が失われる可能性があります。適用されたネットワークの変更に応じて、これらの接続を再確立する必要がある場合があります。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。